

65歳以上の方は、どなたでも無料でご入館いただけます! 敬老の日シニア無料ご招待

令和2年9月21日(祝) 午前10時~午後5時(入館は4時30分まで)

※免許証・保険証・敬老パスなど、年齢を証明できるものをご提示ください



上絵弁慶図陶板 上杉舟華画(多治見市美濃焼ミュージアム蔵)



上絵武者図陶板 山下民松画

旧来ノ模様風ヲ改メ絵画同様にナスタ得バ輸出ノ途ヲ開キ国益トナル— 明治5年(1872)、政府は翌年のウィーン万国博覧会に向けた出品物を製造する磁器製造所を設けるにあたり、陶画の改良を掲げました。明治時代、素地の制作には瀬戸の三代加藤善治らの名工が活躍し、薄いものでは厚さ3ミリしかない長大な磁器の板を成形して、歪みなく焼き上げています。陶板に上絵付けを行った拠点は東京や横浜などがあり、美濃でも絵師が活躍したようです。陶板に焼き付けられた絵画は、退色しにくいうえに絵具の剥落が少なく、紙本や絹本とは異なり素地の変質も生じにくいことから、長年にわたって鑑賞できます。しかしその反面で、窯の中で色合いが変わる絵具を思いどおりの色に焼き付けるには、経験に培われた高い技術が不可欠です。本企画展では明治~昭和時代を中心に、時を超えて私たちの眼を楽しませてくれる陶板の美を紹介いたします。

陶板展

時と美を託す



上絵東海道五拾三次之内 箱根 湖水図陶板



上絵武者図陶板 山下民松画



上絵二神図陶板 三代 加藤善治(多治見市美濃焼ミュージアム蔵)

【後援】愛知県教育委員会・名古屋市教育委員会・名古屋市立小・中学校PTA協議会

公益財団法人



横山美術館

Yokoyama Art Museum

〒461-0004 名古屋市東区葵 1-1-21
TEL.052-931-0006 FAX.052-931-0008
<http://www.yokoyama-art-museum.or.jp>



名古屋市営地下鉄東山線「新栄町」駅(1番出口)徒歩4分
名古屋市営地下鉄桜通線「高岳」駅(3番出口)徒歩4分
*専用の駐車場はございません。お車でのご来場の際は近隣の有料駐車場をご利用ください。

